

## \*「医療水準の高い都道府県は？」医療費1人当たりの地域差分析を発表——厚労省

厚生労働省は8月下旬、2012年度医療費の地域差分析の結果を発表。(都道府県ごとの1人当たりの医療費を人口の年齢構成による差を補正、全国平均を1として指数化)。  
2012年の1人当たりの医療費水準が最も高かったのは福岡県(指数・1.208)。最も低かったのはの千葉県(指数・0.874)。福岡県は3年連続で医療費水準が最も高く、千葉県は3年連続で最も低かった。後期高齢者医療制度に限って地域差指数の推移では、福岡県が3年連続1位、市町村国民健康保険では佐賀県が3年連続1位。医療費の地域差は、人口の年齢構成や、病床数など医療供給体制や医療機関の診療パターン、住民の健康に対する意識や生活習慣、受診行動などが要因に。日本の医療は伝統的に「西高東低」とされ、九州をはじめとする西日本の医療資源が豊富なのに対し、東日本、とりわけ首都圏は人口に対して医療資源が不足していると言われている。都道府県別の健康寿命と医療費水準は必ずしも連動していない(2010年の厚労省調査研究では、福岡県の健康寿命は男性40位・女性44位、千葉県の健康寿命は男性3位・女性27位)ことから、医療費水準の高さは、受診の機会や医療機関の数など「病院のかかりやすさ」が大きく関与していることが伺える。\*神奈川県は全国39位(指数は0.939)

## \*「高齢者の発熱の特徴」要介護度3以上の人ほど発熱しやすい—広大などの医師報告

在宅医療を受けている高齢者の発熱に関する研究論文が、7月9日、英国のオンライン雑『BMJ Open』に公表。(論文を投稿したのは、広島大学や東京慈恵会大学などの5名の医師)。研究の対象は、2009年10月～2010年9月の間に、東京の5つのクリニックで在宅医療を受けた65歳以上の患者419人。発熱の定義は、37.5℃以上、もしくは平熱よりも1.5℃以上高い場合とした。  
医師らによると、発熱は全体の3分の1の患者で起こった。詳しくみると、発熱は、要介護度2以下よりも3以上の人のほうが起こりやすく、歩ける人よりも車いす使用者や寝たきりの患者、認知機能障害が軽度よりも中等度以上の人で起こりやすかった。  
発熱の原因は、肺炎/気管支炎、皮膚/皮下組織感染症、尿路感染症、感冒であった。  
医師らは、車いす使用者や寝たきり、認知機能障害が中等度以上といった重症の患者で発熱が多かったことから、医療提供者はこのような患者に対して頻回に体温を測ることを提案している。また、日常生活動作や認知機能が低下している人では肺炎が起こりやすいことから、口腔ケアや肺炎球菌ワクチンの接種がすすめられるとしている。

## \*「過去最多」100歳以上の高齢者が58,820人に——厚労省

厚生労働省は、今年度中に100歳に到達し、または到達する見込みの高齢者の数は、9月1日現在で29,357人(前年度比+1,188人)と発表。  
都道府県別では、最も多いのは東京都の2,476人(男性390人、女性2,086人)で、大阪府の1,534人(男性192人、女性1,342人)、神奈川県の1,501人(男性243人、女性1,258人)。最も少ないのは鳥取県の215人(男性33人、女性182人)。  
一方、国内の100歳以上の高齢者の数は58,820人(前年比+4,423人)となり、そのうち女性は51,234人で全体の約87%に。人口10万人当たりの100歳以上の高齢者の数を都道府県別にみると、島根県が90.17人と最も多く(全国平均の2倍近く)、高知県が86.44人、鳥取県が79.58人、鹿児島県が77.26人、香川県が73.71人と、西日本の比率の高さが目立つ。

## 訪問リハビリマッサージ☆ 施術時間延長！30分～40分へ！

・当社は関係法規・指導に基づいた訪問・施術を行っております。施術実績も平成12年より 11年間で延べ3150人のご利用者様にリハビリマッサージを提供させて頂いております。総施術回数は48万回となっております。

☆お知らせ！平成26年10月、川崎営業所OPEN！神奈川県下7営業所になります！☆

## \*「床ずれ防止に」ベッドと連動するエアマットレス——パラマウントベッド

パラマウントベッドは、床ずれ防止エアマットレス「こちあ 結起(ゆうき)」シリーズを10月初めに発売。医療・介護ベッドと連結することで、ベッドの背上げ機能に自動的に連動して圧力を適切にコントロールするのが特徴。医療・介護現場では、食事介助や早期離床の促進などのため“背を起こす”ケアが頻繁に行われるが、医療・介護ベッドでの背上げによる身体のずれや圧迫は、床ずれの発生要因となる可能性があるため、背上げ時の床ずれ防止への対応が課題となっていた。

「こちあ 結起(ゆうき)」シリーズは、高い体圧分散性能を持つことに加え、ベッド背上げ時の身体のずれや圧迫を軽減するエアマットレス(※1)で、適合ベッドと連結することにより、背上げ角度に応じエアマットレス内を最適な圧力に自動調節。例えば、部分的に圧力を変化させることで、人の手で行われる背ぬき(※2)や姿勢保持などもサポート、背上げ時の床ずれリスクを軽減することができる。床ずれ防止エアマットレスとしては初めて、操作パネルに「ガイダンス機能付きのフルカラー液晶画面」を採用。大型の液晶画面で、設定状況や各機能の説明などが絵と文章で表示。エアポンプの機能を大幅に高めたことで、使い始めるまでの準備に要する時間が約2分の1に短縮(自社従来品との比較)。停電など電源供給がなくなった場合には自動的にエア漏れを防ぎ、約2週間エアを保持することができるなど、使い勝手や安全性にも配慮している。



## \*「嚥下力の低下した人に」 「スマイルヘルパーさん とろみ調整剤」発売——サラヤ

サラヤ株式会社は、一般家庭の在宅介護にプロユースの品質と安心を届ける「スマイルヘルパーさん」にて、初の介護食品「とろみ調整食品」を9月上旬より全国のドラッグストアや量販店で販売を開始。福祉施設などプロの現場で培った衛生・介護のノウハウを活かし、一般家庭・施設で手軽利用できるよう開発したのが「スマイルヘルパーさん」。高齢者の死亡原因となる誤嚥性肺炎を防ぎ、嚥下困難な高齢者をサポートする「とろみ調整食品」を発売。

「スマイルヘルパーさん とろみ調整食品」は、溶解性に優れている為、ダマになりにくく、お茶などに混ぜるだけでサッと溶けるので、初心者の方でも簡単にとろみをつけることができる。一度ついたとろみは時間が経過しても安定した粘度を維持し、調整後とろみを強くしたり弱くしたりすることが可能。味や色調を変えることなく、素材本来のおいしさをお楽しみいただけるため、嚥下困難な方の食事の安心とおいしさをサポート。



## ☆ケアマネージャー様・介護職員様向け、体験マッサージ実施中！！☆



サン介護マッサージでは、ケアマネージャー・介護スタッフ様への「体験マッサージ」も開催させて頂いております。

\*また、介護施設等の介護職員さん向けのセミナー(勉強会)も実施させて頂いております。

\*スタッフ様に身体の事を少しでも知って頂き、無理のない介護サービスが提供出来る様お手伝いさせていただきますのでお気軽にご相談ください。

TEL:0120-20-3600

 株式会社サンメディカル  
SUNMEDICAL GROUP

<サン介護マッサージ>

健康保険による訪問リハビリマッサージ  
お試しの体験マッサージ実施中

TEL 0120-20-3600